

改 定 前	改 定 後
<p style="text-align: center;"><b>第4章 環境目標達成のための取組</b></p> <p><b>1 未来につながる「地球温暖化の防止」</b></p> <p><b>(1) 低炭素社会の推進</b></p> <p>国際的な潮流として、2015（平成 27）年9月国連持続可能な開発サミットで採択された目標である「持続可能な開発のための2030アジェンダ<sup>※</sup>」が採択され、環境・経済・社会の統合的向上を具体化した「持続可能な開発目標」（SDGs<sup>※</sup>）で17の目標（次項）が定められました。同年12月には「パリ協定」が採択され、今世紀末の平均気温を産業革命前と比べ2度未満の上昇に抑えるという目標がたてられました。</p> <p>国は、この目標を達成するためには、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減する地球温暖化対策計画を策定しました。2030（平成42）年の削減目標を2013（平成25）年度比26パーセントとし、自治体や家庭部門では約40パーセントの削減目標を定めました。</p> <p>（追加）</p>	<p style="text-align: center;"><b>第4章 環境目標達成のための取組</b></p> <p><b>1 未来につながる「地球温暖化の防止」</b></p> <p><b>(1) 低炭素社会の推進</b></p> <p>国際的な潮流として、2015（平成 27）年9月国連持続可能な開発サミットで採択された目標である「持続可能な開発のための2030アジェンダ<sup>※</sup>」が採択され、環境・経済・社会の統合的向上を具体化した「持続可能な開発目標」（SDGs<sup>※</sup>）で17の目標（次項）が定められました。同年12月には「パリ協定」が採択され、今世紀末の平均気温を産業革命前と比べ2度未満の上昇に抑えるという目標がたてられました。</p> <p>国は、この目標を達成するためには、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減する地球温暖化対策計画を策定しました。2030（令和12）年の削減目標を2013（平成25）年度比46パーセントと（削除）決めました。</p> <p><u>さらに2020年(令和2年)10月の菅内閣総理大臣所信表明演説において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする2050年カーボンニュートラルの実現を目指すことが宣言され、2021年(令和3年)10月に改定が閣議決定された地球温暖化対策計画では2030(令和12)年度の削減目標が2013（平成25）年度比46パーセントに引き上げられました。</u></p> <p><u>稲沢市でもこうした流れを受け、温暖化対策に本格的に取り組むことを決意し、</u> <u>2021年(令和3年)9月2日にゼロカーボンシティ宣言を行います</u></p>

改 定 前	改 定 後
<p>今までの状態で、二酸化炭素を多く排出する石油や石炭を使用し続けると、温暖化は益々進み、削減目標を達成することはできません。水や食料と並んで、私たちの暮らしに欠かせないエネルギーの大半は、石油や石炭などの化石燃料を燃焼することで得られています。その使用の抑制及び代替となるエネルギーの使用が求められています。</p> <p>各公共施設、各事業所、各家庭においては省エネルギー設備への転換による、<u>効率的なエネルギー使用</u>を促進し、低炭素社会の推進を目指します。</p> <p><u>(追加)</u></p> <p>《目標値》            中間目標値 2022 <u>(平成 34)</u> 年度            目標値 2027 <u>(平成 39)</u> 年度            稲沢市温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)            基準値 <u>2016 年度 23,571</u>            太陽光発電システム設置費補助 (累計基数)            目標値 <u>2,537</u>            住宅用リチウムイオン蓄電システム設置費補助 (累計基数)            目標値 <u>908</u>            公用車における電気・燃料電池自動車の台数 (台)            目標値 <u>150</u></p>	<p><u>した。これは国の削減目標に従い、市内の温室効果ガスの実質的な排出量を 2030(令和 12)年度までに 46 パーセント削減、2050 年(令和 32 年)までにゼロにするという野心的なものです。</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>この目標の達成に向けて、各公共施設、各事業所、各家庭における省エネルギー設備への転換や、再生可能エネルギーの導入を促進し、低炭素社会の推進を目指します。</u></p> <p><u>稲沢市ゼロカーボンシティ宣言 文面</u></p> <p>《目標値》            中間目標値 2022 <u>(令和 4)</u> 年度            目標値 2027 <u>(令和 9)</u> 年度            稲沢市温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)            基準値 <u>2013 年度 23,077</u>            太陽光発電システム<u>等</u>設置費補助 (累計基数)            目標値 <u>2,637</u>            住宅用リチウムイオン蓄電システム<u>等</u>設置費補助 (累計基数)            目標値 <u>958</u>            公用車における電気・燃料電池自動車の台数 (台)            目標値 <u>28</u></p>

改 定 前	改 定 後
<p><b>2 環境にやさしい循環型社会の構築</b></p> <p><u>(1) 廃棄物の発生抑制と適正処理</u></p> <p>《目標値》            市民一人当たりの家庭系ごみの排出量            目標値 <u>2027 (平成 39) 年度 471 g</u>            市民一人当たりの事業系ごみの排出量            目標値 <u>2027 (平成 39) 年度 135 g</u></p> <p>2) 廃棄物の適正処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>建設</u>廃棄物*の適正処理に向けた指導・啓発</li> <li>● フロン使用製品（冷蔵庫・エアコンなど）の適正処理</li> </ul> <p>(2) 1) より</p> <p><u>(2) リサイクルの推進</u></p> <p>1) 廃棄物のリサイクルの推進</p> <p>● <u>水銀使用廃製品（水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計）の適正処理</u></p>	<p><b>2 環境にやさしい循環型社会の構築</b></p> <p><u>(1) 廃棄物の発生抑制と適正処理</u></p> <p>《目標値》            市民一人当たりの家庭系ごみの排出量            目標値 <u>2025 (令和 7) 年度 500 g</u>            市民一人当たりの事業系ごみの排出量            目標値 <u>2025 (令和 7) 年度 138 g</u></p> <p>2) 廃棄物の適正処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>産業</u>廃棄物*の適正処理に向けた<u>県と連携した</u>指導・啓発</li> <li>● フロン使用製品（冷蔵庫・エアコンなど）の適正処理・<u>啓発</u></li> <li>● <u>水銀使用廃製品（水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計）の適正処理</u></li> </ul> <p><u>(2) リサイクルの推進</u></p> <p>1) 廃棄物のリサイクルの推進</p> <p>(1) 1) へ</p>

改 定 前	改 定 後
<p><b>5 環境意識を向上させる活動の推進</b></p> <p><u>(1) 環境教育・環境学習の推進</u></p> <p>1) 環境教育の充実</p> <p>●<u>社会での環境教育に携わる指導者を育成するための講習会などの開催の促進</u></p> <p><u>(2) 環境保全活動やまちの美化の推進</u></p> <p>1) 環境に関する情報収集と提供</p> <p>環境ボランティアの「稲沢市さわやか隊」や各行政区に市長から委嘱された「<u>環境委員</u>」、愛知県から委嘱された「<u>地域環境保全委員</u>※」など、地域の方々から、環境に関する情報の提供を受け、細部に渡って、快適で住みよいまちづくりを目指します。</p> <p>●さわやか隊や<u>環境委員</u>などからの情報提供</p> <p>●「<u>ごみゼロ運動いなざわ</u>」</p> <p>春と秋の2回、まちづくり推進協議会、行政区、事業所などの協力のもと、「ごみゼロ運動いなざわ」が実施されています。<u>2017(平成29)</u>年度では、延べ <u>541</u> 区の行政区と <u>101</u> の事業所やさわやか隊の方々に、延べ <u>37,295</u> 人が参加されました。</p>	<p><b>5 環境意識を向上させる活動の推進</b></p> <p><u>(1) 環境教育・環境学習の推進</u></p> <p>1) 環境教育の充実</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(2) 環境保全活動やまちの美化の推進</u></p> <p>1) 環境に関する情報収集と提供</p> <p>環境ボランティアの「稲沢市さわやか隊」や各行政区に市長から委嘱された「<u>区長</u>」、愛知県から委嘱された「<u>地域環境保全委員</u>※」など、地域の方々から、環境に関する情報の提供を受け、細部に渡って、快適で住みよいまちづくりを目指します。</p> <p>●さわやか隊や<u>区長</u>などからの情報提供</p> <p>●「<u>ごみゼロ運動いなざわ</u>」</p> <p>春と秋の2回、まちづくり推進協議会、行政区、事業所などの協力のもと、「ごみゼロ運動いなざわ」が実施されています。<u>2022(令和4)</u>年度では、延べ <u>247</u> 区の行政区と <u>106</u> の事業所やさわやか隊の方々に、延べ <u>19,278</u> 人が参加されました。</p>

改 定 前	改 定 後
<p>●環境ボランティア「稲沢市さわやか隊」</p> <p>市が行った市民意識調査では、市民のまちづくりの意向として「自然環境が保全されたまち」を望む声が第一位でした。環境ボランティア「さわやか隊」は、<u>2018（平成30）</u>年3月末で約<u>2,445</u>人の市民が参加し、市民による環境活動のひとつとして定着しています。</p> <p>毎月26日の「さわやかデー」を中心にした地域の見回りなど、快適で住みよいまちづくりに市民自らが尽力しています。</p>	<p>●環境ボランティア「稲沢市さわやか隊」</p> <p>市が行った市民意識調査では、市民のまちづくりの意向として「自然環境が保全されたまち」を望む声が第一位でした。環境ボランティア「さわやか隊」は、<u>2023（令和5）</u>年3月末で<u>2,345</u>人の市民が参加し、市民による環境活動のひとつとして定着しています。</p> <p>毎月26日の「さわやかデー」を中心にした地域の見回りなど、快適で住みよいまちづくりに市民自らが尽力しています。</p>